

ニュージーランド語学研修 Day 1-2

厚木高校は、コロナウイルスの影響で中止していた、オセアニアでの語学研修を数年ぶりに再開しました。今回の行先は、ニュージーランド！自然が豊かで、ゆったりとした国です。

3月9日からの2週間、厚高生11人のニュージーランドでの日々を更新していきます😊



10時間弱のフライトののちオークランド空港にて。とってもいい天気です！

Day 1

およそ10時間のフライトで、現地時間の9時頃にオークランド空港に到着しました。長旅で疲れの見える生徒たちでしたが、空港で少し探索してから現地校“Rutherford College”で待つホストファミリーのもとに向かいます。

バスの中ではまず、時計を4時間進めるようガイドさんからお話があり、だんだんと海外にきた実感がわいてきた様子でした。

この日はそのまま解散となり、それぞれホストファミリーと過ごします。



Day 2



現地校で過ごすはじめての1日は出会いが盛りだくさんでした！！
緊張の面持ちで集合した生徒たちはまずマオリの伝統儀式である
「ポフイ」に参加します。マオリ語でのパフォーマンスとスピーチのあと
本校の代表生徒がお礼を述べ、返歌として校歌を披露しました。
厳粛な儀式のあとは、ふるまわれたお菓子をいただきながら、引き続き
ハカを間近で見学させていただき、まさに圧巻のパフォーマンス！
飛び入りでマオリのゲームも体験させていただきました。
その後は、先生にマオリの説明を受けながら学校を探索。
日本とは異なる授業の様子を見学しました。



(右)探索中の様子
(左)杖を落とさずに指示に従うゲーム

* ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ...

次の出会いは、これから毎日お世話になる英語レッスンの先生です。
レッスンを終えて一言「今まで教えた日本人学生の中で一番だわ！」と最高の誉め言葉を
いただきました。ALL English の授業ですが生徒は楽しそうに、英語を話していました。

* ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ... * ...

最後にして最大の出会いは現地校で一緒に授業を受けてくれるBuddyたちです。
初対面からフランクに話してくれたようで、生徒たちは楽しかったと笑顔で帰っていきました。



→ 出会って数十分でもうなじんでいます！



ニュージーランド語学研修 Day3-6

第2弾では、いよいよ本格的に始まった、現地校での日々をご紹介します😊

Rutherford College では午前中は英語のクラスを、
午後はそれぞれの Buddy と一緒に現地校の授業を受けています！

Day3 英語のクラスでは Carol 先生が、英会話を中心に授業をしてくれています。
この日はスポーツを題材に英語を学びました。

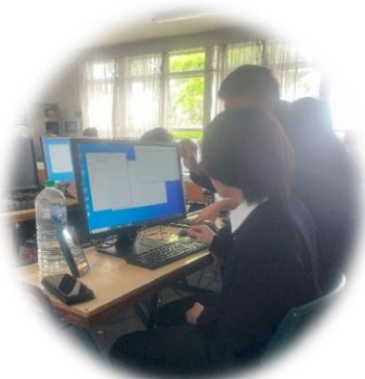


🐾たまには外に出て活動します



🐾楽しいゲームで仲も深まる一方で

午後は、普段の Buddy の時間割どおりに、数学、化学、生物、物理、プログラミング、英語などの授業を、現地校の生徒と一緒に受けています。速いスピードの英語に適應しながら、積極的に学習に取り組んでいます。



🐾現地校での授業参加時の一コマ、難しいけれどみんな笑顔です

Day4

この日は理科の Annette 先生から本校生徒向けの、生物特別授業を受けました。ニュージーランドに生息するヒガシウォータードラゴンやオーストラリアに生息する千リメンナガクビガメなどを観察しながら生物の適応と進化について学習をしました。



🐾 Annette 先生のペットのヒガシウォータードラゴンを実際に触らせてもらいました🐾

Day5

この日の午後は、現地校生が受ける日本語の授業にお邪魔して、厚高生が日本文化の紹介をしました！



習字では、日本語を学ぶ現地の高校生に名前や好きな単語の書き方を教えてあげ、それを扇子や団扇に書いてもらいました。折り紙では鶴と手裏剣を、日本から持参した和柄の折り紙と一緒に折りました。複雑な折り方も必要な難しい作品ですが、みんなきれいに折れていました。目隠しをして相手をウレタン棒で打つ「気配斬り」では、多くの体験希望があり、会場はとても盛り上がりました！



Day 6

Buddy との授業も3日目となりました🐾

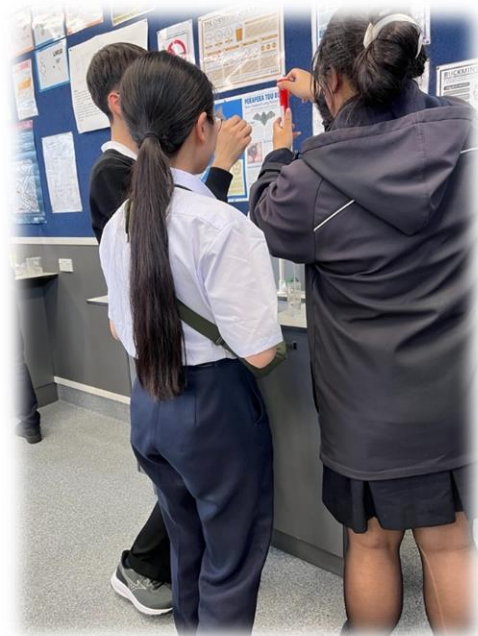
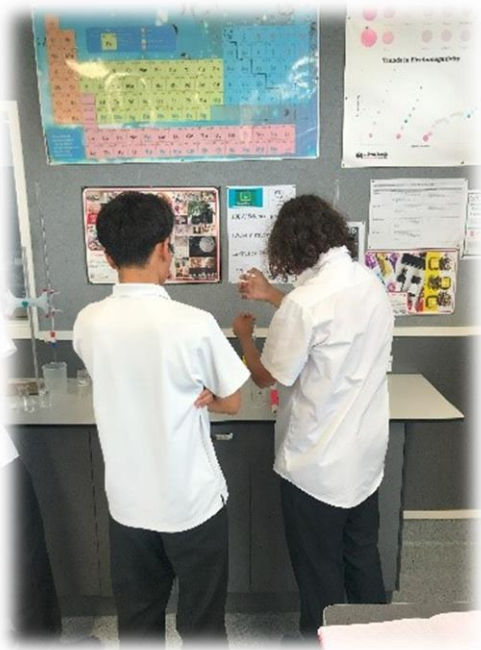
少しずつ友達が増えて、ランチタイムや放課後に一緒に過ごしているようです！

化学の授業ではフェノールフタレインを使った中和滴定の実験に取り組みました。

日本の授業で行った経験があるので、Buddy と協力しながら積極的に参加出来ました。

5時間目は体育の授業でした。

サッカー型のゲームで、バランスボールを使うなど工夫したルールの下で楽しく汗を流しました。



次回は、週末のそれぞれの
過ごし方を生徒たちが
紹介します！



ニュージーランド語学研修 Day7&8

今回は最初で最後の週末に、思い思いの時間を過ごした生徒たちに

それぞれ感想を写真付きで綴ってもらいました😊



私はこの週末、友人4人で土曜日はオークランド動物園、ミッションベイ、日曜日はショッピングモールに行き、そこで様々な体験をしました。一つ目のオークランド動物園では、キーウィをはじめ様々な動物を見ることができました。また、アイスクリームを買ったりお土産をたくさん買ったりとおおいに楽しむことができました。その次はミッションベイ周辺のドライブを楽しみました。芝生の綺麗な大きい公園に行って写真を撮りました。とても楽しかったです。

土曜日は、オークランド近郊の有名な観光地を訪れました。動物園では、人気の動物の他にキーウィなどニュージーランド固有の動物も見ることができ、とても楽しむことができました。ミッションベイでは、とても美しい景色を見ることができました。また、現地の子供とサッカーをしました。日曜日はショッピングモールにお土産を買いに行きました。いろいろな商品があり迷いましたが、きっと喜んでもらえると思います。その後に行ったゲームセンターでは、とても盛り上がり楽しむことができました。



午前中、私は現地校の友人と、ビーチに行きました。ビーチでは海に入りましたが風がとても強く、「So cold!!」と嘆いていました。午後はお土産屋さん立ち寄り、ラーメン屋に行ったり、シティを歩き回りました。この日一番驚いた事は、シティの建物がどれも大きかったことで感動しました。。



私たちは土曜日の午後、ホストファミリーのアシカさんにポイントシュバリエビーチへ連れて行ってもらいました。夕方だったけれどまだ明るく、ボール遊びやピクニックをしている家族もいました。一人一人、ひと家族ひと家族が十人十色のことをしていましたが、そこにクラゲがいるよとか、その犬かわいいね！とかささいなことでも皆がコミュニケーションを取り合っていました。私たちが知らない文化に触れられた気がしてとても面白かったし、たくさんの人と繋がれているような気がしてとても楽しかったです。短い間でしたが、日本と違う文化と美しい自然の両方を感じることができて、とてもいい経験でした。

土曜日はオークランド市街を探検し、ギフトショップに行ってお土産を買いました。ホストファミリーと集合するとき、集合場所がわからず 30 分ほど道に迷いました。内心かなり焦りましたがなんとかたどり着きました。日曜日にはイーデン山という街全体を眺められる山に登りました。写真はこのときのもので、また水族館が有名な砂浜に行きました。入江になっているので波は穏やかでとても綺麗で泳ぎだしたくありませんでした。



日本とニュージーランドの砂浜を比べてみると、色々な違いがある。この文章を読んでいる皆様は、「砂浜」と聞いてどのようなものをイメージするだろうか。売っているものはどこも似たり寄ったりなくせに価格はやけに強気な露店、広げられた色とりどりのパラソル、そして砂の上にバラバラと打ち上げられたり、捨てられたいした様々な物品たち。恐らくそんなものだろう。

ニュージーランドの砂浜は、どこまでも砂が広がるばかりである。露店も、パラソルも、そしてゴミや海藻もあいやしない。貝殻拾いをするにもポンポンと見つかるという事はなく、十歩ほど歩いて漸くひとつ見つかるといった程度だ。文字通り、砂の集まりなのである。ここまで砂浜に何も無い理由が気になったが、その理由は翌日分かった。

蛍光イエローが眩しいベストを着て、トンクと袋を片手にゴミを拾う人たち。そう、ゴミ拾いボランティアである。ニュージーランドは環境保全のボランティア活動が盛んであり、ゴミ拾いの他にも植林や固有生物の人工繁殖等の活動もあるそうだ。

日本では、企業ではなくボランティアが主導してこういった活動をする事は少ない。これは良いことなのか、悪いことなのか。二国の風土や国民性、法律の違いもあるので、安易には判断できないだろう。まさに「正解のない問題」というものだと感じた。



天候にも恵まれ、それぞれがよい週末を過ごせたようです！
残りわずかの滞在ですが、まだまだイベントがたくさんあります

最終号では帰国までの日々をご紹介します🐾

ニュージーランド語学研修 Day9-13

2週間の語学研修は無事終了し、参加生徒全員が3月22日(金)に予定通り帰国しました。
今回は最終報告として第2週目の活動の様子をお届けします。

19日(火)には、Rutherford College が企画した「Fia Fia Night」に参加させていただきました。

このイベントでは、Rutherford College の生徒がマオリの「ハカ」をはじめ、様々な国と地域の
伝統音楽と舞踊を披露してくれました。とても完成度の高い、感動するパフォーマンスでした。



20日(水)は、Rutherford College での最終日でした。この日は今年度の「ヴェリタス」の授業
で追及してきた課題の研究発表を行いました。Rutherford College の生徒も、本校生徒の発表
に真剣に耳を傾けて、積極的に意見交換をしてくれました。



発表会の様子



最高のパティと



研究発表の後には Rutherford College から研修の終了証をもらいました。
隣にいるのは一緒に勉強した buddy。離れるのが名残惜しいほどに仲良くなることができました。

Rutherford College さん

2週間の滞在を受け入れていただきありがとうございました。



21 日(木)は、オークランド市内で、博物館とスカイタワーを見学しました。

博物館では、マオリの集会所である「マラエ」や、ニュージーランドにかつて生息していた鳥類「モア」の剥製、さらには世界に5機しか残っていない「零戦」など、多くの貴重な史料を見学しました。



お昼はオークランド市内で一番人気の中華料理を堪能しました。

スカイタワーは南半球で最も高いタワーです。

この日は晴天で、オークランド市内のみならず遠くの山まで一望できました。

生徒の感想



数え切れないほどたくさんの良い経験ができました。自分の英語は完璧ではなかったけれど現地の人とのコミュニケーションは最高に楽しかったです。とにかく自由なので日本では考えられないようなこともあったけれど、価値観やものの見方とか参考にすべきことがたくさんありました。これからの海外への意識がよりいっそう高まったと思います。

普段は完全インドア派の私ですが、滞在中は普段居る環境とは全く異なる環境に居たことで外に出て行動することへのハードルがガクッと下がったように感じます。また、日本に帰ってからもちょっとだけ外に出ることが増えました。

今回の研修に参加する前は英語などの不安も多かったですが、周りの人たちも優しく、研修全体を楽しむことができました。学校も家も普段とは違うし、文化の違いもあって、日本と違う雰囲気初めて触れられたのが嬉しかったです。また、英語で現地の人とコミュニケーションできたことで、英語で人と話すことへの不安が少なくなって、より自信が持てた気がします。

長いようであっという間の2週間

生徒はたくさんのことを学び、楽しみ、素晴らしい時間を過ごすことができました。☺☺☺